

サイエンスアゴラ 2010 運営について（案）

1. 会場について

- ①未来館（1 F & 3 F：18日～21日使用・7 F：20日～21日使用）
 - ・ シンボルゾーン・企画展示ゾーンAは使用不可（それ以外は昨年同様のスペースを使用予定）。
- ②交流館（18日～22日使用）
 - ・ 昨年同様のスペースを使用（4 F 会議室は有料のため要相談）
 - ・ 体育館にポスターセッション＋飲食コーナー設置（後述）。
- ③産総研（本館）（18日～21日使用）
 - ・ 昨年同様のスペースを使用
- ④産総研（別館）
 - ・ 今回は使用しない方針としてはどうか。
- ⑤全体
 - ・ 各会場・部屋毎に使用できる備品の事前洗い出しと、会場別の火気使用・水道使用・暗幕（暗室化）使用の可否を明確化。募集要項に掲載する。

2. 会場案内・サイン関係

- ①案内看板
 - ・ 出展者が多く会場が複数に分かれており、出展者からも案内表示の不備を指摘されている。
 - ・ 昨年度アンケートより、案内人を配置するより、大型の案内看板を増設して欲しいという意見あり。また費用面からも配置人員減が望ましい。
 - ・ 案内看板の設置場所につき、未来館・交流館敷地以外は基本的に不可。道路上設置の場合は別途許可が必要（基本的には不可）。
- ②プログラム
 - ・ 昨年度アンケートで字が小さいという意見あり。ページ分量＝コストにも関係するが、検討要。

3. 飲食関連

- ①飲食提供
 - ・ 周囲にコンビニ・食堂が少なく、昨年の出展者アンケートからも飲食提供を求める意見がある。そのため、臨時で販売業者への依頼を検討する。
 - ・ 販売箇所については交流館側とする。
- ②飲食会場
 - ・ 手弁当も食べられる場所として、飲食コーナー（テーブル＋イス）設置検討要。
 - ・ 会場の検討要。現状、「体育館でポスターセッション＋飲食コーナー」「交流館3 F ホワイエに設置」などの意見あり。

4. 物販

- ①販売物
 - ・ 物販に対する要望があり、集客の一助にもなると予想されるため、今回より実施の方向で検討。基本的に書籍・グッズのみとし、飲食物・化学薬品などは不可とする。

②運用

- ・ 未来館ミュージアムショップと直接交渉し、売上の一部を支払う（マージンを分ける）ことで、ショップ前で実演・販売した例もあり、ショップ内にアゴラコーナーを設けて委託販売することもショップとの交渉によっては可能（ただし、ショップの商品と競合しないことが前提）。
- ・ 販売物がサイエンスアゴラの目的にそぐわないおそれがあるため、募集時に物販を行うか確認の上、販売物については事前申請を必要とする（当日チェック必要）。
- ・ ショップ委託販売しない場合は、各団体の責任にて販売可とする等、方法を検討（売買・金銭に関して事務局はタッチしない）。
- ・ 物販のみを目的とする出展は不可。

5. 来場者数・属性の把握

- ・ 受付誘導や受付方法を工夫し、来場者数把握の厳格化に務める。また、出展者からの事後アンケートも必須とし、来場者との対話や成果などの把握に努める。

6. スタッフ／ボランティア

①スタッフ

- ・ 前回、誘導スタッフ過多との指摘があり、設営・搬入出など必須のものを除き、有償スタッフを減らす。
- ・ 当日スタッフ減のため、案内看板を充実させる。
- ・ その他、当日スタッフの業務分担を明確化。

②ボランティア

- ・ 積極的にボランティアを活用する。意欲を生かしながら、組織化（指揮系統）業務明確化を行う（ブース訪問アンケートなど、業務内容につき検討要）。
- ・ 運営会社と密に連携し、直前でなく募集前に関係者間で意識共有が必須。
- ・ 運営会社の労働力でないことを明確にする。

7. スケジュール

6月下旬までに仕様書確定。

7月下旬までに業者決定。

8月中に全企画決定。

8. 体制

各施設：…導線アドバイス／仕様書アドバイス

未来館： 櫻井（未来館）…運営全般の把握、業者やりとりなど事務局と一体となった体制を検討

事務局： ○長田、渡辺、吉田、松本、井村、梅原…統轄・業者発注

以上